

# 新 報 府 羅

私は昨年は「この世の終わりが近づいている」ということについて書きました。今年も引き続き「この世の終わりがもっと近づいている」とことについて書きたいと思ひます。

アメリカのマサチューセッツ工科大学の発表によりますと、今使われている石油は20年、また金属資源は50年にこの地球からなくなっていくといわれています。石油の後に来る原子放射性廃棄物は1000倍に増加し、地球上の生命活動を脅かすと語られているのです。

トランプ大統領が選挙戦で、核拡散容認と受け取れる発言をしたり、地球温暖化への懐疑的姿勢を示したりしたことが反映した」と報告されています。聖書の教えも予告されています。また、一般の

と、機械文明を促進させるために植物から油をとって燃料とすることは、自動車産業ではすでに始まっているのです。ですから、世界の農業国は工業国の発展のために植物性油を増産しているのです。

## 南加キリスト教教会連合

### 「この世の終わりがもっと近づいている」

河野亮平

激しくなっています。日本だけでなく、世界的に経済と生活の格差がありますので、ある国では一部の人が本当に豊かですが、一方、貧しい人々で満ちているのです。貧しい人はますます貧しくなっています。

600人以上の人々が集まりました。アメリカ、日本は本当に豊かといわれていますが、実際はホームレスや貧しい人々がいるし、世界の国々で大きな問題となっています。

聖書の予言によって、私たちは今のように生かされていくかを再吟味する必要があります。この世界は本当に罪に穢(けが)れています。神様の前に心から自分の罪を悔い改めて、私たちのために罪の身代わりとして十字架で死んで蘇られた主イエスを信じて、正しく自分を聖書を通して見つめて信仰を与えられて、この世にあって勝利の歩みを日に日に賢く、今の時を最大限に生かして意義ある毎日を送りたいと思ひます。

羅府新報の記事の中で「世界終末」まで2分半とありました。科学誌に「核戦争による世界の終わりまでの時間を象徴する『終末時計』を30秒進め、人類滅亡を示す午前0時まで残り2分30秒とした。

人々も論議しています。前に述べたごとく、自然科学者の資源の問題発表で世の終わりを

油にする植物の値段は高騰しています。そのために世界の人々の生活は脅かされているのです。

私は2年間、日本に滞在していた時に、ホームレスの人々の集まりに参加させていただきました。私がお話をした時に、上野動物園の近くに

は諸国民は悩み、海と大波のどろきにおじ惑い、人々は世界に起ころうとすることを思い、恐怖と不安で気絶するであろう。もろもろの天体が揺り動かされるからである」

今日という日は二度とやってきません。一日の歩みを意味あるときとなるように聖書の予言、イエス様の再臨を目の前にして、与えられた一日を悔いのない歩みとしたいものです。

また、現代の世界情勢を見

考えると貧富の差がますます

激しくなっています。日本だけでなく、世界的に経済と生活の格差がありますので、ある国では一部の人が本当に豊かですが、一方、貧しい人々で満ちているのです。貧しい人はますます貧しくなっています。

イエスは、この世が終わりになるときはどのようなか

(JEMS内外宣教コンサ ルタント)